続けられる？　仕事につながる？

50代から学ぶ前に知っておきたいこと。

社会経験を積んだプレミアム世代だから、人生の充実のために学びたいことがあります。何から始めたらいいのか？ プロにアドバイスをいただきました。

Q 新しく何かを学ぶ場合、どんなことを基準にテーマを選ぶべきですか？

A 学ぶこと自体が目的か、仕事につなげるのか、まず明確にしましょう。

テーマ選びは、学ぶところによって異なるようだ。

大学は新しいことを学ぼうとする人が主流。

「多くの受講生が、経験にかかわらず勉強したいと思い続けてきた科目を選ばれます。入学理由は『今後の自分の生き方を探すため』が圧倒的でした」（立教大学 立教セカンドステージ大学・足立寛さん）

キャリアアップスクールは、経験を生かすタイプが多数派。

「技術をさらに磨き、より高いステージの仕事で成果をあげていますね。資格取得もぜひ考えてください」（ヒューマンアカデミー・大林光昭さん）

カルチャースクールでのテーマ選びは「好き！」が重要。

「歌が"好き"ならば、上手ではなくても声楽コースで楽しめますよ」（朝日カルチャーセンター・長澤洋子さん）

Q どういう勉強をすれば、50代からでも新しい仕事を始められますか？

A 職歴や子育てのキャリアを踏まえ、スキルを生かした科目を選ぶ。

「"仕事"につなげるならば経験を生かせる分野を検討したほうがいいと思います。ただし、経験は必ずしも仕事だけとは限りません。例えば専業主婦として子育てや家族の健康を考えてきた経験を生かして、食生活を指導する食育のスペシャリストになる方もいます」（大林さん）

食育専門家は自治体や学校の要請を受けて指導にあたる。

「朝日カルチャーセンターでは、文学作品を朗読するクラスや書評クラスが50代以上の女性に特に人気があります。身につけたスキルを生かして児童館やハンディを持つ方の施設で本を読み聞かせる仕事をしたり、中にはそういった施設の館長になられた方もいらっしゃいます」（長澤さん）

Q これから注目されそうな新しい資格を教えてください。

A 外国人や子ども向けの日本伝統文化指導者や日本語教師に注目です。

資格や検定がある分野で、ヒューマンアカデミーで人気なのは、主に外国人に教える日本語教師、外国人や子どもに教える日本伝統文化指導者、育児経験が生かせるチャイルドマインダーなど（大林さん）。

「これらは需要が多く、資格を持つ人が少ない新しい科目。介護系も問い合わせは多いのですが、向き不向きがはっきりしているので慎重に検討してください」（大林さん）

一方、朝日カルチャーセンターではピアカウンセラーが注目されている。

「介護施設や病院で患者さんなどの相談相手になる資格で、今後、需要がもっと増えるでしょう」（長澤さん）

50代に働くチャンスが多い資格

日本伝統文化指導者	外国人や子どもに伝統文化を教える資格。日本伝統文化振興機構認定委員会主催の認定試験がある。合格後、学校を開いたり、自治体で教えるチャンスが生まれる。
日本語教師	国内外の日本語学校で、外国人や外国に住む日本人に正しい日本語と日本の文化伝統を教える仕事。一年に1度日本語教育能力検定試験がある。
チャイルドマインダー	乳幼児から学童期の子どもの成長をサポートする。自宅開業、企業内保育などがある。現状では、各民間団体やNPO法人独自の資格制度となっている。
パソコン講師	全国のパソコン教室や自治体主催のパソコン教室が増加。シニアには、シニアの講師が求められている。資格はマイクロソフトなどが独自で設けている。

Q 通信教育でもスキルは身につくのでしょうか？

A 意志が強ければ大丈夫。でも、仲間がいたほうが頑張れるかも。

通信教育でのスキルアップは、本人の意志の強さ次第。

「語学で、例えば洋書を原文で読むならば、通信でも十分。でも、きれいな発音でのコミュニケーションには、通学をお勧めします。教室で失敗したり仲間の失敗を見るのも勉強になるからです」（鈴木久美子さん）

「通信の場合で、最も難しいのは、一人で学び続けなくてはいけないことでしょう。日仏学院の通信では、気持ちが折れないように電話やネットでサポートしています」（津田さん）

「意志が強ければ通信でもスキルアップできます。ただし、通学にはプラスαがある。仲間と刺激し合うことでモチベーションが上がり、視野も広がって素敵な出会いが持てるようになれます」（足立さん）

Q 語学を楽しく身につける方法はありますか？

A 音楽、食、美術を通して学ぶ講座もあります。

語学は継続が重要。教室での勉強を生活や趣味と結びつける工夫が成果につながる。

「娘さんや息子さんと英語でメール交換をしたり会話の時間をつくる方は多いですね」（Gaba・鬼木まどかさん）

「映画やシャンソンなどを通してフランス語を身近なものにするといいでしょう」（アテネ・フランセ・鈴木久美子さん）

「日仏学院では、シャンソン歌手による『シャンソンできれいな発音を』、漫画好きの方に使う『バンド・デシネを鑑賞する』を開講。フランス料理を通して学ぶクラスもスタートします」（東京日仏学院・津田桜さん）

楽しく語学を身につける講座

50代向け旅行英会話	Gabaマンツーマン英会話の「シニア50＋プラン」は50代以上向けプラン。海外旅行を楽しんだり、海外にいる家族と連絡をとったりなど、生活を楽しむための英語が学べる。
シャンソンで学ぶ	フランスのシャンソン歌手、スプリームさんが教える東京日仏学院が行っている初心者向けのフランス語講座。歌を楽しみながら、きれいな発音を身につけていこうというクラス。
美術で学ぶ	アテネ・フランセの美術史講座では、時代背景と共に画家の作品について学ぶ。ルーブル美術館展など美術館での一日課外授業もあり好評。フランス語中級修了程度の方対象。
フランス料理で学ぶ	日仏学院の「フランス式暮らしの芸術と料理」はフランス料理のメニューやマナーから学んでいく日本語で行う初級講座。このクラスで学び、通常のクラスへ移行していく。

Q 「カラーコーディネーター」「野菜ソムリエ」「フラワーデザイナー」などは、仕事として需要はありますか？

A 経済的自立が目的ならばほかのテーマにしましょう。

女性に人気の資格の定番、カラーコーディネーターやフラワーデザイナー、そして料理好きの間でここ数年人気がある野菜ソムリエなどは、生活を支えるほどの仕事は難しいが、働く場がなくはない。

「色やお花の仕事は、ブライダル会場やホテルなどでも需要はあるようです。野菜ソムリエもそれだけで経済的に自立するのは大変ですが、すでに調理現場や食の分野でキャリアがあるなど、食品会社で働く方には役立つでしょう」（大林さん）

「自治体が運営する講座や物産館のような施設の仕事で、臨時に働く機会はあるかもしれません」（足立さん）

「3つとも女性には大人気ですが、ほとんどの方は趣味の域です。経済的自立ならば、ほかの分野での学びをお勧めします」（長澤さん）

Q プレミアム世代が学んでいる大学はありますか？

A 社会人枠はかなりの大学にありますが、まずはキャンパスを見学してみましょう。

少子高齢化の現在、多くの大学に社会人枠がある。また、上智大学や慶應義塾大学の社会人向け語学講座も長く続いている人気のコース。仕事の後でも通えるように都心部にサテライトキャンパスを設けている大学も多い。そんな中でも特にプレミアム世代向けなのが、入学資格が50歳以上、今年で3年目を迎えた立教セカンドステージ大学だ。

「学び直すことがテーマなので、サテライトキャンパスではなく、大学生と同じ広い敷地で1年間勉強していただきます。キリスト教の学校なので、入学式と修了式は学内のチャペルで行い、クリスマスパーティーもあり、夏にはゼミ合宿にも出かけます。図書館や学食などの施設も一般学生と同様に利用していただけます」（足立さん）

お話をうかがった方々

大林光昭さん
ヒューマンアカデミー
社会人教育事業部　就職部
ジョブカウンセラー

足立 寛さん
立教大学　立教セカンドステージ大学事務局
課長

長澤洋子さん
朝日カルチャーセンター
新宿教室・部長

鬼木まどかさん
Gabaマンツーマン英会話　PR担当

鈴木久美子さん
アテネ・フランセ
事務局

津田 桜さん
東京日仏学院
広報担当

●講座のお問い合わせ先

ヒューマンアカデミー☎0120-15-4146／朝日カルチャーセンター 新宿JTB・交流文化塾☎03-3344-1941／アテネ・フランセ☎03-3291-3391／立教大学 立教セカンドステージ大学☎03-3985-4672／Gaba☎0120-286-815／東京日仏学院☎03-5206-2500

撮影・高橋仁己（大林さん）、内藤公邦（長澤さん、津田さん）　取材/文・神舘和典
イラストレーション・宮城ユカリ